

令和6年度
青森県中学校教育課程研究集会
【外国語科部会】

つがる市立柏中学校
小野 武志

外国語科にかかわる主題

生徒一人一人が、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、「深い学び」へ向かう外国語による言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための学習指導と学習評価の工夫・改善

発表の流れ

- 1 授業の概要について
- 2 授業の様子について
- 3 評価の実際について
- 4 成果と課題について

1 授業の概要について

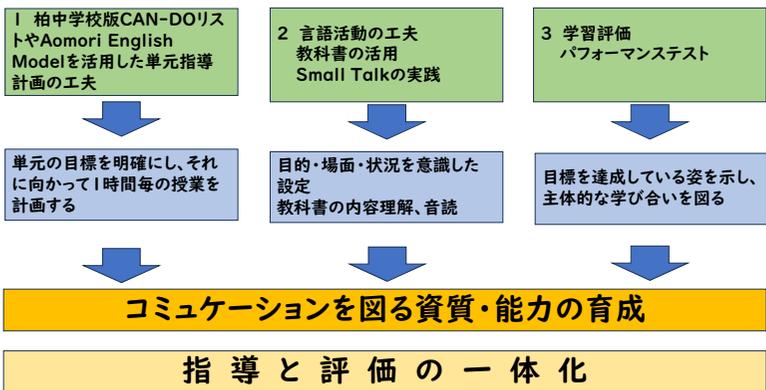
東京書籍 NEW HORIZON 2年

Unit2 Food Travels around the World

言語材料 接続詞

(when, if, that, because)

1 授業の概要について



1 授業の概要について

中学校外国語単元計画シートを活用した指導計画の工夫

① 単元目標、CAN-DOリストの形での学習到達目標

単元目標	
話すこと [やり取り]	
夏休みに新しく赴任するALTたちに、現任のALTであるマイロ先生がおすすめの飲食店を紹介できるよう、つがる市や五所川原市にあるおすすめのレストランや飲食店について理由や自分の考えを付け加えて紹介し、出された質問について1回以上やり取りをすることができる。	
CAN-DOリストの形での学習到達目標	話すこと [やり取り] イ 日常的な話題について、自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

1 授業の概要について

中学校外国語単元計画シートを活用した指導計画の工夫

② パフォーマンス課題、使用する言語材料・語彙・表現、目標を達成している生徒の姿

パフォーマンス課題	言語材料・語彙・表現
ALTにおすすめのレストランについて理由も踏まえて発表したり、聞かれたことに答えたりする。	表現 When ..., ~. / If ..., ~. / ~ because ... I think (that) ... など
	語彙 good / nice / thick など

1 授業の概要について

中学校外国語単元計画シートを活用した指導計画の工夫

③ 評価規準

評価規準【話すこと [やり取り]】			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識	接続詞when, if, that, becauseを用いた文の形・意味を理解している。	好きな食べ物やおすすめのレストランとその理由や自分の考えについて伝え、質問されたことに答えている。	好きな食べ物やおすすめのレストランとその理由や自分の考えについて伝えようと、質問されたことに答えようとしている。
技能	おすすめのものについて接続詞when, if, that, becauseを用いて理由などを伝え合う技能を身につけている。		

1 授業の概要について

中学校外国語単元計画シートを活用した指導計画の工夫

④評価基準(ルーブリック)

知識・技能	
B	接続詞 when, if, that, becauseを用いた文の構造について理解し、誤りがあるものの理由を加えながらコミュニケーションに支障のない程度の英文を用いてお気に入りのものやことについて話すことができる。
A	接続詞 when, if, that, becauseを用いた文の構造について理解し、理由を加えながらお気に入りのものやことについて、誤りのない正しい英文で話すことができる。
Bに達してしなければCとする。	

1 授業の概要について

中学校外国語単元計画シートを活用した指導計画の工夫

④評価基準(ルーブリック)

思考・判断・表現	
B	ALTや友達に「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分のおすすめの飲食店について、理由や考えなどを整理して簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えながらやり取りしている。
A	ALTや友達に「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分のおすすめの飲食店について、理由や考えなどを整理して簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしながらやり取りしている。加えて、情報をもとにして即興で1往復以上、相手との質問に答えながら会話を続けている。
Bに達してしなければCとする。	

1 授業の概要について

中学校外国語単元計画シートを活用した指導計画の工夫

④評価基準(ルーブリック)

主体的に学習に取り組む態度	
B	ALTや友達に「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分のおすすめの飲食店について、理由や考えを整理して簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えながらやり取りしようとしている。
A	ALTや友達に「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分のおすすめの飲食店について、理由や考えを整理して簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしながらやり取りしようとしている。加えて、情報をもとにして相手との質問に答えながら会話を1往復以上続けようとしている。
Bに達してしなければCとする。	

1 授業の概要について

中学校外国語単元計画シートを活用した指導計画の工夫

- ⑤単元計画(1~5時)
- 単元の導入
 - 単元の目標提示
 - 小学校の学習内容の確認
 - 言語活動の工夫
(教科書やワークシート、
Small talkの活用)

単元計画		主な言語活動等
時	ねらい	
1	<ul style="list-style-type: none"> ■単元の目標を理解する。 ■単元のゴールをイメージし、仏土のやり取りを聞いて、おおよその内容を理解する。 ■単元のゴールを確認し、自己目標を設定する。 ■Scene1のスピーチ文を読み、読み取った内容をべアで確認する。 ■使われている未知の語句の意味や接続詞thatの文の構造と意味を理解する。 ■Practice ■自由な時間があるときにすることについてwhatを使って表現してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①対話文を読み、聞き取れた内容について分かったことをべアで伝えよう。 ②教師が仏土に話し、おおよその内容を紹介する。 ③Scene1のスピーチ文を読み、読み取った内容をべアで確認する。 ④使われている未知の語句の意味や接続詞thatの文の構造と意味を理解する。 ⑤Practice ⑥自由な時間があるときにすることについてwhatを使って表現してみる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ■Scene1を読み、引用するなどしながら、ジョシムがテレビを見る時やフィリピンにいた時についてを伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ①前時で話した「自由な時間がある時にすることについて、べアを覚えて伝えよう。 ②ジョシムの発表文を読み、べア、全体で話の内容について伝えよう。(retelling) ③ジョシムの発表文の内容について伝えよう。 ④接続詞whenについてまとめる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ■Scene2の対話文を読み、橋本とジョシムのカレーについての会話内容を伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ①2P.250 Speak & Write 1: 自由時間の時に何をするかについてメモをもとに、対話をする。 ②Scene2の対話文を読み、読み取った内容について伝えよう。 ③対話文で使われている接続詞ifの文の構造と意味を理解する。 ④Practice: 橋本になったつもりで「もし毎手に時間があったら、自分たちは何ができるか」について伝えよう。 ⑤「もし時間があつたら、自分は何がしたいか。」をべアで伝えよう。
4	<ul style="list-style-type: none"> ■Scene2の対話文を読み、橋本とジョシムが会話内容について伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ①2P.240 Practice: 自分について、「もし週末が晴れたらば、…したいです」ことについてべアで伝えよう。 ②Scene2の対話文を読み、読み取った内容について伝えよう。 ③Speak & Write 2: 例にならぬ、自分の住んでいる町に友達来たときに、紹介したい場所を書き、べアで伝えよう。 ④接続詞ifについてまとめる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ■Read and Think 1を読み、本文で説明されている内容について理解したことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①前時で行った自分の住んでいる町に友達来たときに、紹介したい場所を伝える対話文を練習する。 ②Read and Think 1を読み、本文で説明されている内容を理解する。 ③本文で使われている未知の語句の意味や接続詞thatを用いた文の構造と意味を理解する。 ④Practice: ジョシム、橋本、橋本が思うこと、望んでいること、知っていることについて伝えよう。

1 授業の概要について

中学校外国語単元計画シートを活用した指導計画の工夫

⑥単元計画(6~10時)

- ・言語活動の工夫
(教科書やワークシート、
Small talkの活用)
- ・パフォーマンステスト
- ・Unit2で学習した文法の確認

6	Read and Think 1を読み、本文で説明されている内容について理解したことを伝える。	①前時の音読活動⑤を再度全体で伝え合う。 ②Read and Think 1を読み、Round1とRound2を聞いて本文で説明されている内容を理解する。 ③Round1: 本文を読んで、カレーの歴史や変化をペアで表にまとめる。 ④表でまとめた情報をもとに、日本のカレーの歴史について伝え合う。 ⑤接続詞thatについてまとめる。
7	Read and Think 2を読み、本文で説明されている内容について理解したことを伝える。	①前時で行った紹介した日本のカレーの歴史を再度伝え合う。 ②Read and Think 2を読み、本文で説明されている内容を理解する。 ③本文で使われている未知の語の意味や接続詞 becauseの構造と意味を理解する。 ④Practice: ジョシュのクラスメートになったつもりでbecauseを用いてる英文を伝え合う。 ⑤自分の好きな季節と、その理由を伝える文を言い、ノートに書く。
8	Read and Think 2を読み、本文で説明されている内容について理解したことを伝える。	①前時の音読活動⑤を再度全体で伝え合う。 ②Read and Think 2を読み、Round1~3を聞いて本文で説明されている内容を伝え合う。 ③Round1: 橋本への返信メールをペアで完成させる。 ④接続詞becauseについてまとめる。
9	パフォーマンステスト ALTに、「新しい来るALTに紹介したい」と思ってもらえるように、自分のおすすめのレストランや飲食店について紹介し、出された質問に即興で答える。	①メモをもとにUnit2の学習した接続詞 (when, if, that, because) を用いて表現する。 ②メモをもとに出された質問に答え、1枚以上やり取りする。
10	接続詞の確認 Unit2で学習した接続詞when, if, that, becauseの確認と学習についての振り返りをする。	①Unit2で学習した接続詞when, if, that, becauseの文法確認をする。 ②Unit2の振り返りをする。

2 授業の様子について

単元1時間目での、パフォーマンス課題設定の工夫

1時間目の目的

- ・ALTが夏休み中に自身の代わりに新しく赴任するALTたちに、おすすめの飲食店を紹介したいという状況を理解させ、ALTのためにがんばろうとする生徒たちの意欲を高める。
- ・単元のゴールをクラス全体で共有し、単元の学習に見通しをもたせる。
- ・小学校で学習した内容に触れ、目標達成のためにはどのような表現が必要なのかを考えさせる。

2 授業の様子について

単元1時間目での、パフォーマンス課題設定の工夫

パフォーマンス課題設定における工夫

- ・ALTと教師がどんなことを話しているのかをグループで話し合わせ、生徒たちから出た発表内容を課題につなげる。
- ・ALTと教師との会話において生徒が知っているラーメン店を紹介し、この単元で学習する表現を使うことにより、生徒自身が飲食店を紹介することができるという見通しをもたせる。
- ・小学校で学習した内容に触れ、単元の学習後には生徒自身がレベルアップを感じられるようにする。



単元1時間目に触れた小学校で学習した英語表現①

We have a big park.



出典: JUNIOR TOTAL ENGLISH 2 (学校図書)

単元1時間目に触れた小学校で学習した英語表現②

Where do you want to go?



出典: JUNIOR TOTAL ENGLISH 2 (学校図書)

2 授業の様子について

言語活動の工夫①

教科書本文の内容からその時間のKey Sentenceへとフォーカスする。
(この授業では接続詞whenの導入)



- ・ジョジョは料理が好き
- ・テレビで、たかさんの興味深い料理を見た
- ・日本では、カレーライス、カレーパフ、カレーうどん、カレーパンなど、たかさんの種類のカレーレシピがある。
- ・ファミリーピンは、カレーパンをきいたことがないから興味がある 1組

- ・ジョジョは料理が好き
- ・ジョジョがテレビを見ているとき、たかさんの面白い料理を見た
- ・たかさんの種類があった
- ・ジョジョがファミリーピンにいたとき、カレーパンを食べたことがない

2 授業の様子について

言語活動の工夫②

グループ活動やペア活動において、Key Sentenceを用いて自分のことについて話したり、相手のことについてたずねたりするなど、やり取りの機会を設定し、次の活動や単元の最終課題につなげることができるように工夫する。



コミュニケーション活動で用いたワークシート

『自分の周りの人は何のテレビ番組が人気があるか調べてみよう』

Class 2 A No. Name

会話
A: Hello. What TV program is popular?
B: I think (that) Crayon shin-chan is popular.
How about you?
A: I think (that) _____ is popular.
Thank you for telling. See you.

B: See you.

会話のあとにメモしましょう。

Name	popular TV program
Yuka	ピリ-ブ-くるり
Nico	ドラゴンボール
Sari	ZY
Biba	モーター
Rivia	Crayon shin-chan
Rico	Crayon shin-chan

会話の結果、自分の周りで一番人気のテレビ番組は何でしょう

I think (that) Crayon shin-chan is very popular around me.

『自分の周りの人は何の動物が好きなのか理由も含めて会話しよう』

Class 2 A No. Name

会話例
A: Hello. What animal do you like? ^{my cool}
B: I like gorillas because they are strong.
How about you?
A: I like cheetahs because they run fast.
Thank you for telling. See you.
B: See you.

会話のあとにメモしましょう。

Name	favorite animal	reason
Takeshi	gorillas	strong
かあう	foo(a)	Very cute
(マコ)	white tiger	cute and cool
かほ	fion	cool
まひ	rhinoceros (サイ)	cool

会話の結果、自分の周りの人は何の動物がどんな理由で好きなのか英文で記入しましょう。

例 Takeshi likes gorillas because they are strong.

Niko likes white tiger because they are very cute and cool.

2 授業の様子について

言語活動の工夫③

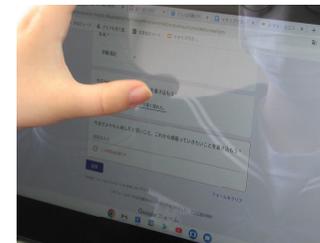
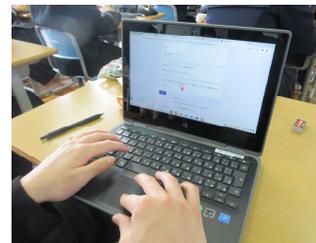
帯活動として、毎時間の初めに、スモールトークを行い、即興性を養う。
(生徒同士による会話1分間→生徒と教師またはALTによる会話1分間)



2 授業の様子について

授業の振り返りについて

タブレットでgoogleフォームを活用し、授業ごとに振り返りを行っている。
振り返りは個人ごとに蓄積され、生徒の変容を見ることができる。



3 評価の実際について

学習評価 パフォーマンステスト

パフォーマンステスト課題

「夏休みに新しく赴任するALTたちに、現ALTのマイロ先生がおすすめの飲食店を紹介できるように、つがる市や五所川原市にあるおすすめのレストランや飲食店について理由や自分の考えを付け加えて紹介し、出された質問について1回以上やり取りしよう。」

3 評価の実際について

学習評価 基準(ルーブリック)の活用

	知識・技能
B	接続詞 when, if, that, becauseを用いた文の構造についてある程度理解し、誤りがあるものの理由を加えながらお気に入り飲食店について話すことができる。
A	接続詞 when, if, that, becauseを用いた文の構造についてある程度理解し、正しい英文で理由を加えながらお気に入り飲食店について話すことができる。

Bに達してしなければCとする。

3 評価の実際について

学習評価 基準(ルーブリック)の活用

	思考・判断・表現
B	ALTや聞いている人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分のおすすめの飲食店について、理由や考えなどを簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手との質問に答えながらやり取りしている。
A	ALTや聞いている人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分のおすすめの飲食店について、理由や考えを整理して簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手との質問に答えたりしながらやり取りしている。加えて、情報をもとにして即興で1往復以上、相手との質問に答えながら会話を続けている。

Bに達してしなければCとする。

3 評価の実際について

学習評価 基準(ルーブリック)の活用

	主体的に学習に取り組む態度
B	ALTや聞いている人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分のおすすめの飲食店について、理由や考えを整理して簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手との質問に答えながらやり取りしようとしている。
A	ALTや友達に「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分のおすすめの飲食店について、理由や考えを整理して簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手との質問に答えながらやり取りしようとしている。加えて、情報をもとにして相手との質問に答えながら会話を1往復以上続けようとしている。

Bに達してしなければCとする。

3 評価の実際について

学習評価 パフォーマンステスト

パフォーマンステスト時の授業の流れ

- 1 教師による例示
- 2 グループでの練習や生徒同士によるアドバイス
- 3 パフォーマンステスト
- 4 振り返り



3 評価の実際について

学習評価 パフォーマンステスト

【3観点で概ね全てB評価と判断した生徒】





3 評価の実際について

学習評価 パフォーマンステスト

【3観点で全てA評価と判断した生徒】



3 評価の実際について

学習評価 パフォーマンステスト 振り返り(生徒の記述から抜粋)

- ・マイロ先生からの質問を英文を返すことができたので、とても嬉しかったです。 もっと色々な店を紹介できるようになりたいです。
- ・英語で言われたことを瞬時に理解して、正しい文法で返せるようになったと思う。Unit3でも重要文法をしっかり覚えていきたい。
- ・あまり、英語を言うことができなかったけど、今日の活動を通して少しずつ言えるようになったし、苦手だった単語を2つ以上言えるようになったから、これからの英語も頑張りたい。

4 成果と課題

成果

- ・中学校外国語単元計画シートを活用し、授業を計画したことで各授業で生徒に付けたい力を意識して授業をすることができた。
- ・単元の目標を実際の出来事として設定したことにより、生徒は目標に向けて意欲的に活動する様子が見られた。
- ・I think や because・・・の表現が日常生活においてもよく使われることを理解させることができ、積極的に使おうとする姿勢が見られた。

4 成果と課題

課題

- ・教師やALTとのやり取りの中で、接続詞whenやifをあまり活用せず、会話が終わることがあった。接続詞whenやifを活用する機会を意図的につくっていききたい。
- ・コミュニケーション活動を行う中で、英語を苦手とする生徒への支援がさらに必要だと感じた。チームティーチングや生徒による教え合い活動を工夫し、手立てとしていきたい。
- ・パフォーマンステストにおいてALTが質問する内容や使用する英単語が既習事項なのか、確認しテストを実施していきたい。

最後までご視聴してくださり、
ありがとうございました。

令和6年度 青森県中学校教育課程研究集会 【外国語科部会 指導助言】

つがる市教育委員会教育部指導課
主任指導主事 坂本 朋子

- 1 柏中版 CAN-DOリストと単元の目標
～学習指導要領 外国語科の目標から～
- 2 指導と評価の一体化 ～学習評価の進め方～
- 3 小野先生の実践について
 - ・単元の導入
 - ・単位時間の言語活動
 - ・単元を通じた言語活動

1 柏中版CAN-DOリストと単元の目標

柏中版CAN-DOリスト「中学校で育てたい生徒像」

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けた生徒。

学習指導要領
外国語科
目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

柏中学校版CAN-DOリストによる学習到達目標

学習目標	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
1	簡単な文脈の中で、聞き取れる語句や文の意味や内容を理解し、必要な情報を取り出すことができる。	簡単な文脈の中で、読み取れる語句や文の意味や内容を理解し、必要な情報を取り出すことができる。	簡単な文脈の中で、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる。	簡単な文脈の中で、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる。	簡単な文脈の中で、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる。
2	簡単な文脈の中で、聞き取れる語句や文の意味や内容を理解し、必要な情報を取り出すことができる。	簡単な文脈の中で、読み取れる語句や文の意味や内容を理解し、必要な情報を取り出すことができる。	簡単な文脈の中で、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる。	簡単な文脈の中で、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる。	簡単な文脈の中で、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる。
3	簡単な文脈の中で、聞き取れる語句や文の意味や内容を理解し、必要な情報を取り出すことができる。	簡単な文脈の中で、読み取れる語句や文の意味や内容を理解し、必要な情報を取り出すことができる。	簡単な文脈の中で、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる。	簡単な文脈の中で、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる。	簡単な文脈の中で、相手に自分の考えや気持ちを伝えることができる。

(柏中学校版CAN-DOリストによる学習到達目標)

中2 話すこと[やりとり]のイ

日常的な話題について、事実や自分の考えや、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続させることができる。

柏中学校版CAN-DOリストによる学習到達目標

中2 Unit 2 単元の目標

夏休みにつがる市に来るALTに、現任のALTがおすすめの飲食店を紹介できるよう、つがる市や五所川原市にあるおすすめのレストランや飲食店について理由や自分の考えを付け加えて紹介し、出された質問について1回以上やり取りをすることができる。

中2 話すこと[やりとり]のイ

日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続させることができる。

中学校卒業時 話すこと[やりとり]のイ

日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

(柏中学校版CAN-DOリストによる学習到達目標)

柏中学校版CAN-DOリストによる学習到達目標

中2 話すこと[やりとり]のイ

日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続させることができる。

(柏中学校版CAN-DOリストによる学習到達目標)

日常的话题について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。

(中学校学習指導要領 解説 外国語編)

中2 Unit 2 単元の目標

夏休みにつがる市に来るALTに、現任のALTがおすすめの飲食店を紹介できるよう、つがる市や五所川原市にあるおすすめのレストランや飲食店について理由や自分の考えを付け加えて紹介し、出された質問について1回以上やり取りをすることができる。

2 指導と評価の一体化 ～学習評価の進め方～

中学校外国語単元計画シート		
学年	Unit	単元名
2	2	Food travels around the world
① 単元目標		
② 自校のCAN-DOリストとの関連		
③ パフォーマンス課題、言語材料など		
④ 目標を達成している生徒の姿		
⑤ 評価規準		
⑥ 評価基準(ルーブリック)		

- ① 単元目標
- ② 自校のCAN-DOリストとの関連
- ③ パフォーマンス課題、言語材料など
- ④ 目標を達成している生徒の姿
- ⑤ 評価規準
- ⑥ 評価基準(ルーブリック)

2 指導と評価の一体化

単元計画	単元計画	学習評価		
		SP	SP	SP
1	単元目標			
2	単元目標			
3	単元目標			
4	単元目標			
5	単元目標			
6	単元目標			
7	単元目標			
8	単元目標			
9	単元目標			
10	単元目標			

- ⑦ 単元計画
- ※「指導に生かす評価」
- 評価規準に照らして資質・能力を見取る。
「生徒の学習改善」と「教師の指導改善」につなげる。
- ⑧ 「見直し」と「振り返り」
- ⑨ 「記録に残す評価」
- 目標達成が見込まれる時点で実施。
指導した内容について、生徒の達成状況を見取る。

3 小野先生の授業から

◇単元の導入より

- ・課題の設定
(ゴールとなる課題の確認)
- ・小学校での既習事項を使ってトライさせる。
- ・どのような表現を使って話せるようになりたいか検討



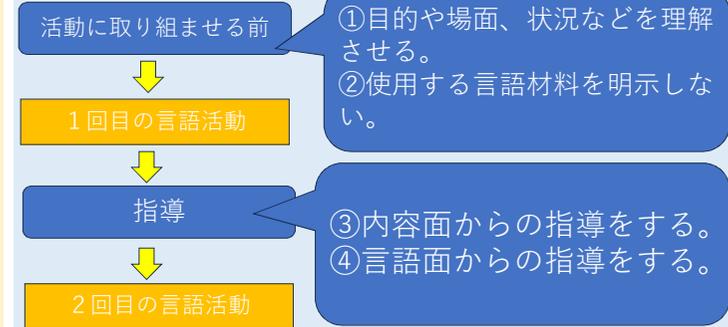
単元の1時間目に、単元終末の言語活動をイメージさせ、単元の学習に対する意欲化を図る指導。



小野先生の授業から

力を育成する言語活動を通して資質・能力

◇パフォーマンステストに至るまでの単位時間の指導



- ①目的や場面、状況などを理解させる。
- ②使用する言語材料を明示しない。

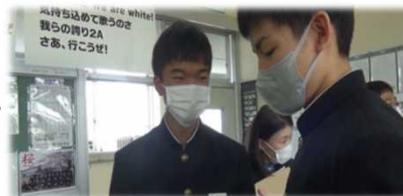
- ③内容面からの指導をする。
- ④言語面からの指導をする。

小野先生の授業から

言語活動とは？
単に繰り返し活動を行うのではなく、生徒が言語活動の目的や言語の使用場面を意識して行うことができるよう、具体的な課題等を設定し、その目的を達成するために、必要な言語材料を取捨選択して活用できるようにすること。

(中学校学習指導要領解説 外国語)

- ・単元を通し、各時間で、教科書の文を引用しながら考えをペアで伝え合う活動を行う。
- ・帯活動として繰り返し、理解を深めさせる。
- ・生徒の学習状況を確認する。
- ・自分の考え等を伝える際は、語句ではなく、文で伝えさせることも意識させる。



小野先生の授業から

◇言語材料を理解する段階

- ・意味と使い方の気づきを促す。
- ・少しでも多く聞いたり読んだり、話したり書いたりさせる。
- ・当該言語材料を明示しない状況で使用させる。

◇言語材料を使用する段階

- ・帯活動の「Small Talk」で、繰り返し話させたことがよかった。
- ・ある程度の時間をかけて繰り返し使用させることを心掛ける。

◇パフォーマンステストへ

小野先生の授業から

◇パフォーマンス評価について

・ALTとのやりとりを見取る



- ・今回は生徒一人対ALTとのやり取りを評価した。
- ・生徒二人でやり取りをしたり、ALTが加わり、三人でやり取りすることも考えられる。
- ・十分な発話がない生徒がいた場合には、新しいペアでのやり取りを観察することも考えられる。



実施後は、生徒一人一人に、それぞれの観点の評価結果を示し、できるようになったことを大いに認める。その上で、自分自身で成果や課題を明らかにさせ、次の単元に向けた目標を持たせる。